

【事務局より】
 疫学の公表文献1報がリスク管理機関から提出されました。
 なお、疫学シートの「No.」～「備考」、疫学詳細シートの「No.」～「国名(地域名、研究名)」及び「備考（他の文献との関連等）」は、リスク管理機関から提出された資料のままの記載としています。ただし、リスク管理機関から提出された資料から確認できなかった項目については、事務局にて原著を確認の上、赤字で追記しています。
 各文献の研究結果の分類（「評価に使用する可能性のある文献」/「評価に使用しない文献」）及び判断理由について御検討ください（「評価に使用する可能性のある文献」に分類する案としておりますので、評価書案〔Ⅱ.14.(1)〕にも記載しています。）。

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	原著/ レビュー	海外評価 書での引 用の有無	ドシエでの引用 の有無	備考	研究結果の分類	分類の判断理由	事象 (疾病等)
1	Pretilachlor poisoning: A rare case of a herbicide masquerading as organophosphate toxicity	CLINICAL CASE REPORTS (2020), 8(12), pp.3506-3508	2020	Shilpakar, O; Karki, B; Rajbhandari, B	Department of General Practice and Emergency Medicine, NAMS, Bir Hospital, Kathmandu, Nepal	http://dx.doi.org/10.1002/ccr3.3473	原著	—	—	—	評価に使用する可能性のある文献		症例報告

2.研究結果詳細

No.	著者名	研究デザイン								健康関連の事象の情報							備考（他の文献との関連等）	事象 (疾病等)	
		国名 (地域名、 研究名)	試験設計	調査時期	対象者、年齢	アウトカムの定義	アウトカムの確認方法	ばく露指標の定義	ばく露の確認方法	試験全体のN数(症例/対照)	アウトカムのN数（症例）	分析カテゴリー	ばく露に係るN数(症例/対照)	相対リスク/オッズ比等	95%信頼区間	p値			交絡因子の考慮
1	Shilpakar, O; Karki, B; Rajbhandari, B	Nepal	症例報告	記載なし	42歳男性1名	症状 バイタルサインの測定, 血液生化学検査等	著者の属する病院の救急 部による診断	自殺目的による 服用	聞き取り調査	1	1	50%プレチラクロール 製剤を250mL服用した 患者のアウトカム	(症例報告のため非暴露者の設定なし)	—	—	—	—	除草剤プレチラクロールを自発的に服用した事故の症例報告。アトロピンの静脈内投与により回復した事例だが、1例であり、詳細な検査結果が記載されていないため、区分cとした。	症例報告